

令和元年12月26日・

令和2年2月6日開催

次世代支援・教育力向上特別委員会

委員 長 報 告

令和2年3月定例会

委員 長 稲 川 和 成

それでは、去る12月26日及び2月6日に開催されました当委員会の審査概要について、順次ご報告申し上げます。

最初に、12月26日の審査概要についてご報告いたします。報告事項の1「教育委員会定例会の開催状況について」報告を求めましたところ、次のような説明を徴しました。

まず、教育委員会定例会は、令和元年11月15日の当委員会による審査以降3回開催し、平成30年度教育費決算や、一般会計及び各種特別会計決算審査特別委員会の概要等について報告を行なうとともに、協議事項として、令和2年度教育局組織体制や、教育費当初予算要求額等について、議事として、12月市議会定例会に係る専決処分や補正予算の議案の原案等について議決したとのことであります。

以上のような説明に対して、訴訟となっているいじめ問題に対する教育委員会定例会での取り扱いについて等、質疑応答の後、本報告を終了いたしました。

次に、報告事項の2「いじめ問題の現状について」報告を求めましたところ、次のような説明を徴しました。

本市教育委員会のいじめ問題への取り組みとして、令和元年12月20日に「川口の元気 第8回いじめゼロサミット」を開催し、各学校において取り組んだ「いじめゼロ活動」の紹介や、いじめ根絶に向けたグループ協議を行なったとのこと。

このほか、川口市いじめの防止等のための基本的な方針の見直しに向けた取り組みや、教育委員会から各学校へ指導等を行なったとのこと。

また、市立学校のいじめ防止の対応については、各学校において実態に応じた基本的な方針を策定し、毎年見直しを行なうとともに、いじめの防止や早期発見、いじめの対処等に関する措置を実効的に行なうための組織を常設するほか、責任体制を確立するために、いじめ対応教員を置いているとのことであります。

以上のような説明に対して、まず、いじめゼロサミットの効果について問われ、これに対して、学校全体でいじめ根絶に向けた意識が高まっているとのこと。

また、いじめ問題への取り組みにおける校長向け研修の必要性について問わ

れ、これに対して、いじめはどの学校にも起こりうるという意識を持つことが重要であることから、研修を通じていじめ防止対策推進法に対する認識を深める必要があるとのことでありました。

このほか、川口市いじめの防止等のための基本的な方針の見直しにおける教育委員からの意見について等、質疑応答の後、本報告を終了いたしました。

最後に、報告事項の1及び2にかかり、個人情報を含む可能性のある質疑については、秘密会により審査いたしました。

次に、2月6日の審査概要について、順次ご報告申し上げます。

初めに、報告事項の1「第2期川口市子ども・子育て支援事業計画（案）について」報告を求めましたところ、次のような説明を徴しました。

本計画は、令和2年3月末で満了する第1期計画の実績や施策推進の課題を整理し、一人ひとりの子どもが健やかに成長することのできる社会形成をさらに推進するために策定するものであるとのこと。第2期計画では、子ども・子育て支援にかかる課題として、引き続き、低年齢児の保育ニーズは高いと考えられる一方で、少子化の進行を念頭に置き、中長期的な視点での施設整備のあり方を検討する必要があるとのこと。

また、妊娠や出産、育児に関して不安を抱えている人の負担を軽減するための子育て支援事業の充実を図る必要などがあるとのこと。

これらの課題に対し、家庭支援、子ども支援、及び社会環境整備の3つの基本目標を設定し、施策を展開していくとともに、私立幼稚園の認定こども園への移行促進や、公立保育所のあり方の検討など4つの重点項目に取り組んでいくことに加え、教育・保育施設や地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保方策について定めるほか、子どもの貧困対策についても、本計画の中に位置づけるとのことでありました。

以上のような説明に対して、認定こども園への移行促進の状況について問われ、これに対して、私立幼稚園協会と話し合う機会を設けるなど、現在、数園の幼稚園から相談を受けているとのことでありました。

このほか、病児・病後児保育事業における今後の施設の提供体制について等、質疑応答の後、本報告を終了いたしました。

次に、報告事項の2「(仮称)子ども発達相談支援センターについて」報告を求めましたところ、次のような説明を徴しました。

当センターは、子どもの発達に不安を持つ保護者が相談先に迷うことなく安心して相談できるワンストップの相談機関として、切れ目のない支援と、発達

に特性のある子どもを地域全体で支えるための基盤整備を行うことを目的としており、名称を「川口市子ども発達相談センター」とし、令和2年4月20日に事業開始を予定し、家庭児童相談員によるアドバイスや情報提供、面接を行うとのこと。その後、受理会議にて支援方針を検討し、福祉、教育、医療、保健などの関係機関との連携を図りながら支援していくとのこと。

また、小学校を訪問し、子どもへの適切な支援について検討していく「1年生訪問事業」などの支援事業のほか、発達障害や発達特性に対する理解を広める普及啓発等、子どもを取り巻く環境の整備に努めていくとのことでありました。

以上のような説明に対して、外国人から相談を受けた場合の対応について問われ、これに対して、通訳が必要となる場合は、翻訳機等を活用しながら対応していくとのことでありました。

このほか、センターの周知方法について等、質疑応答の後、本報告を終了いたしました。

次に、報告事項の3「中・高一貫校について」報告を求めましたところ、次のような説明を徴しました。

本市の中・高一貫校は、併設型の中高一貫校として、令和3年4月1日に川口市立高等学校附属中学校を開校するとのこと。出願資格は、令和3年3月に小学校を卒業する見込みの者で、出願時に保護者と同居し、市内に住所を有し、入学後も引き続き市内に居住する者とのこと。教育課程としては、45分の授業を1日7時間とするほか、AI時代やグローバル社会に適応できる人材育成のための「STEM&リベラルアーツ」、本物に触れる体験活動を行なう「サイエンスフィールドワーク」、英語学力向上のための「グローバルスタディ」など、特色ある教育課程を検討しているとのこと。開校までのスケジュールは、令和2年6月及び8月に学校説明会、10月に生徒募集要項説明会、12月に入学願書受付を行なった後、令和3年1月に適性検査・入学許可候補者発表を行なうとのことでありました。

以上のような説明に対して、適性検査の内容について等、質疑応答の後、本報告を終了いたしました。

次に、報告事項の4「教育委員会定例会の開催状況について」報告を求めましたところ、次のような説明を徴しました。

令和2年における第1回教育委員会定例会を令和2年1月16日に開催し、令和元年度大貫海浜学園・水上少年自然教室終了報告や、川口市立学校におけるいじめ問題の状況などについて報告を行なうとともに、協議事項として、3

月市議会定例会案件などについて、議事として、職員の人事などについて議決したとのこと。

また、令和2年度から、教育委員会全体の法務関係業務に対応する職員を配置するなど、体制強化を図っていくとのことでありました。

以上のような説明に対して、法務関係業務に対応する体制の強化を図ることとなった経緯について等、質疑応答の後、本報告を終了いたしました。

次に、報告事項の5「いじめ問題の現状について」報告を求めましたところ、次のような説明を徴しました。

市立学校におけるいじめ問題の現状として、令和元年11月15日の報告以降12月までの小学校でのいじめ認知件数は948件増で2,062件、解消件数は667件増で1,030件、解消率は17.4ポイント改善し50パーセントとのこと。同様に、中学校でのいじめ認知件数は103件増で289件、解消件数は124件増で176件、解消率は32.9ポイント改善し60.9パーセントとのこと。市立高校で新たに認知したいじめは無かったとのこと。

また、いじめ重大事態については、新たに2事案の報告があり、このうち1件は、被害者及び加害者家族に調査結果を報告したとのことでありました。

以上のような説明に対して、調査が終了した事案における再調査の有無について等、質疑応答の後、本報告を終了いたしました。

最後に、報告事項の4及び5にかかり、個人情報を含む可能性のある質疑については、秘密会により審査し、委員会審査を終了した次第であります。

以上で、報告を終わります。